

ホストタウン登録自治体での 教育機関等と連携したメダルプロジェクトについて

2018年7月版

公益財団法人
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

東京2020組織委員会が実施する「都市鉱山から作る！ みんなのメダルプロジェクト」は、東京2020大会の約5000個の金・銀・銅メダルを、全国各地から集めたりサイクル金属で作る国民参加型のプロジェクトです。

本プロジェクトは、持続可能性社会及びSDGsの実現にも寄与するものであることから、内閣官房において重点的に推進する取組として、ホストタウン登録自治体にて積極的に実施することを推奨するものとします。

ホストタウン登録自治体が実施するメダルプロジェクトに寄与するアクションのうち、下記要件を満たすものを、ホストタウンアクションとして認証いたします。

ホストタウンアクション（メダルプロジェクト）の要件

■ 参画プログラムの対象となるアクションであること

- ・ 7つの要件（適切性/公益性/参加可能性/非悪質/非宗教・非政治/安全性/非営利性）を満たすこと
- ・ 3つの大会ビジョン（全員が自己ベスト/多様性と調和/未来への継承）にあてはまる要素を含んでいること
- ・ レガシーコンセプトの要素を含むこと

詳細については、下記資料をご参照ください。

- ・ 東京2020参画プログラムガイドライン
- ・ 東京2020参画プログラム申請ガイド

■ 「ホストタウン自治体での教育機関等と連携したメダルプロジェクト展開プラン」に該当すること（詳細次頁）

プランA ・ ホストタウン登録自治体内の小中学校等でのメダルプロジェクト推進

プランB ・ 機運醸成に向けたイベントの開催
・ 自治体首長＋オリンピック・パラリンピック担当大臣、環境大臣等の政務＋アスリート等を派遣する普及イベント

■ 2019年3月までに実施されるアクションであること

プランA：ホストタウン登録自治体内の小中学校等でのメダルプロジェクト推進

■ 回収ボックスの設置

ホストタウン登録自治体の小中学校等にメダル回収ボックスを環境省より提供し、児童・生徒・家庭からの小型家電を回収します。

(例) わが街都市鉱山発掘プロジェクト (市町村オリジナル企画の実施)

※自治体の希望により、高校・大学・幼稚園、企業などでの取組も可能です。

※商工会には回収ボックスも設置してあります。

プランB：機運醸成に向けたイベントの開催

■ 普及イベントの開催

〔自治体首長
オリンピック・パラリンピック担当大臣、環境大臣等の政務
アスリート
等を派遣する普及イベント（地元メディアとの連携も推進）を開催します。〕